5分で読める！

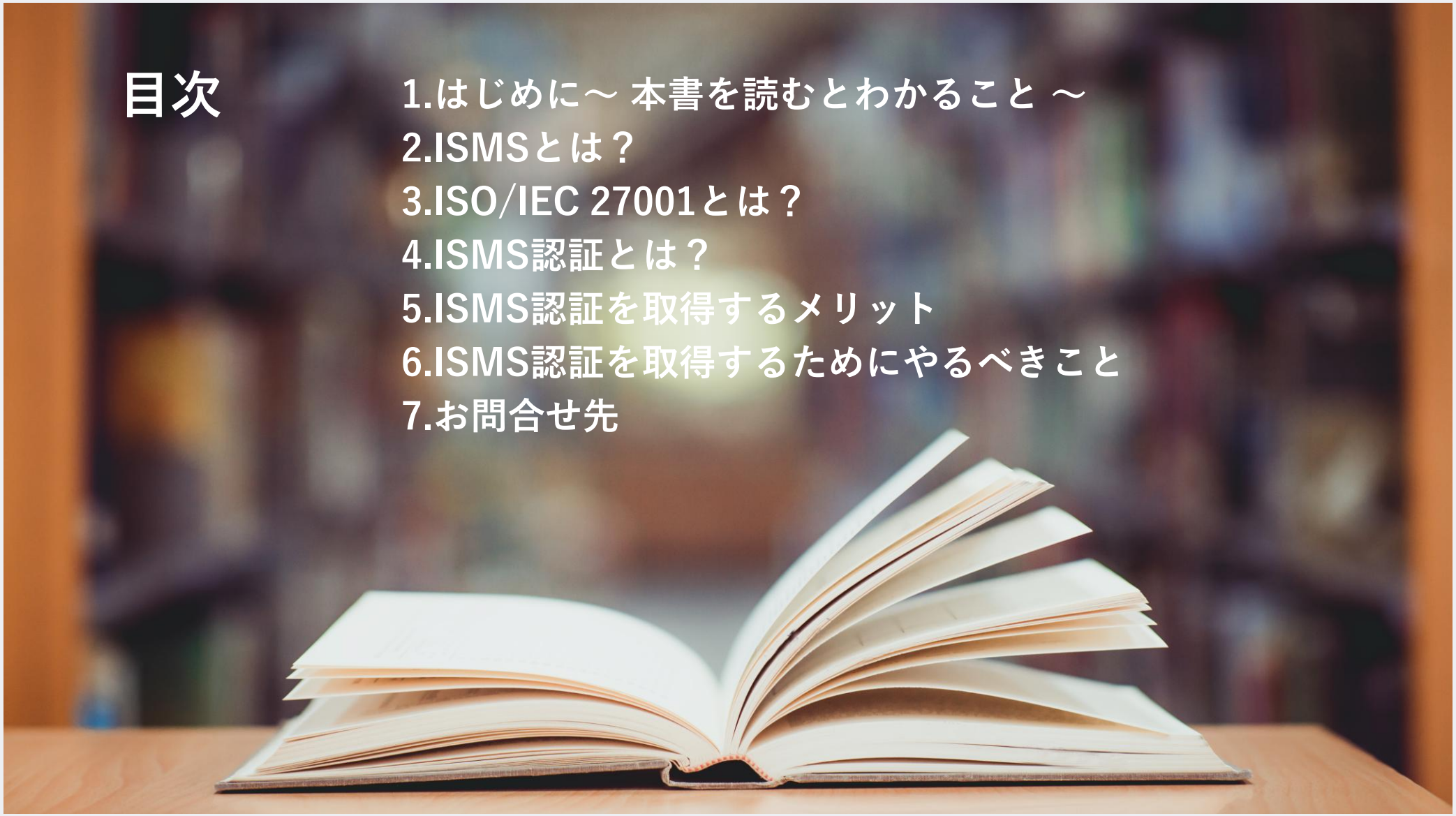
ISMSを
取ろうと思ったときに
初めに読む書



日本電気株式会社
NECフィールディング株式会社

目次

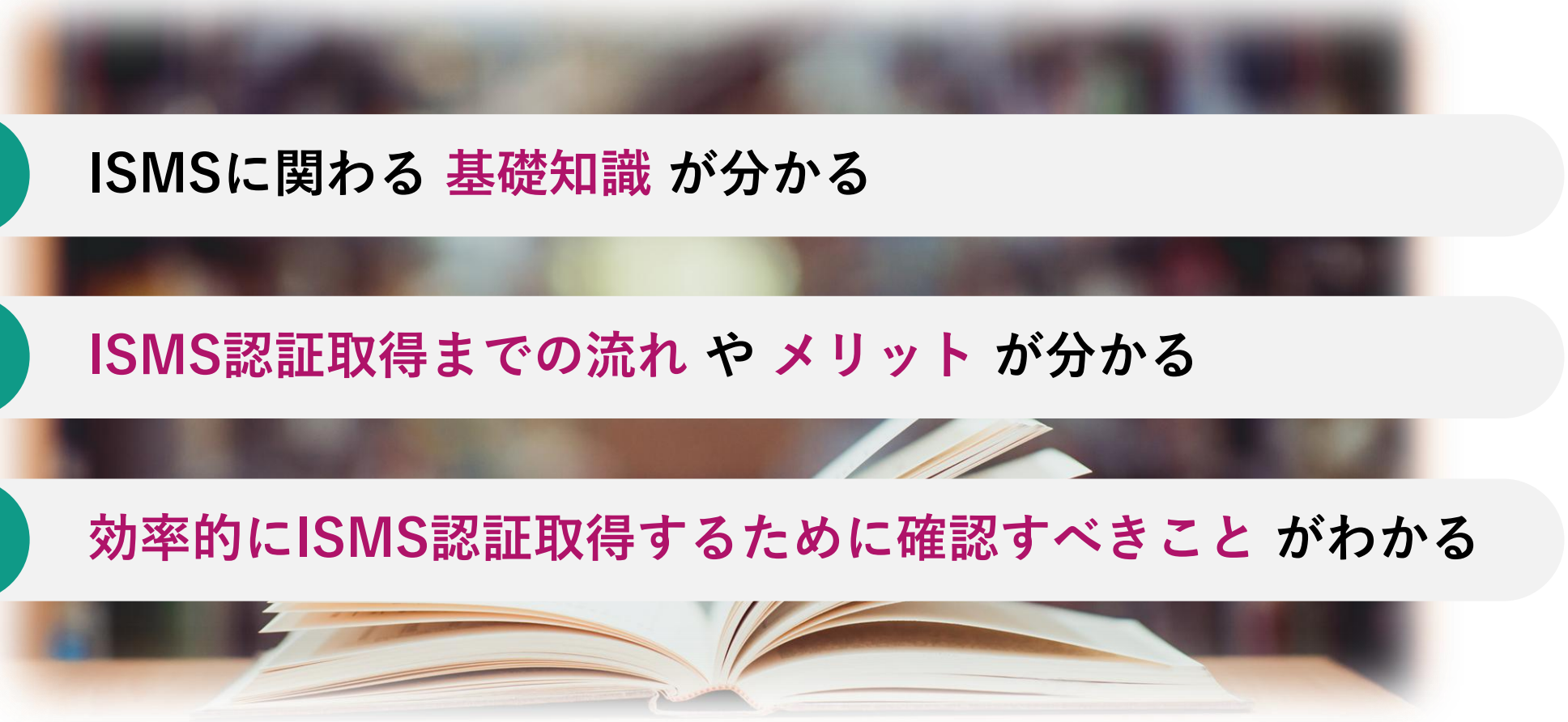
1.はじめに～ 本書を読むとわかること ～
2.ISMSとは？
3.ISO/IEC 27001とは？
4.ISMS認証とは？
5.ISMS認証を取得するメリット
6.ISMS認証を取得するためにやるべきこと
7.お問合せ先



© NEC Fielding, Ltd. 2026

はじめに ～ 本書を読むとわかること ～

本書は、ISMSの導入をこれから検討されるお客様や、初めて導入に携わられるお客様に対し、
ISMSの基礎知識と、最初に確認すべきことをまとめた資料です。
貴社のISMSの導入／検討にご活用いただけますと幸いです。



1. ISMSに関わる **基礎知識** が分かる
2. **ISMS認証取得までの流れ** や **メリット** が分かる
3. **効率的にISMS認証取得するために確認すべきこと** がわかる

© NEC Fielding, Ltd. 2026

1. ISMSとは？

まずはじめに、ISMS認証に関して言葉の整理をしておきます。
そもそもISMSとは、「情報の機密性、完全性、可用性を保護するための体系的な仕組みのこと」です。

ISMSは仕組みですので、基準となるものが必要になります。それが「ISO/IEC 27001」です。
「ISO/IEC 27001」 はどのようにISMSを構築し運用するかを定めた国際規格です。

Information Security Management System

情報セキュリティ

情報の機密性、完全性、可用性を確保すること

機密性 C	完全性 I	可用性 A
Confidentiality	Integrity	Availability
「その情報を扱ってよい」と決められた人だけが扱えること	情報が壊れていないこと	情報を扱うべきときに扱えること

マネジメントシステム

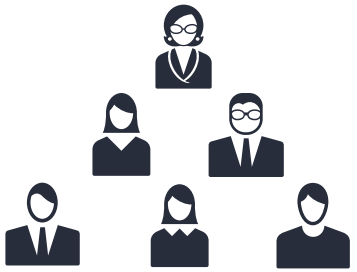
目標を達成するために組織を管理する仕組み

組織を管理するために必要なこと

ルールの策定 ＋ 組織のメンバの役割と責任の明確化



規定や手順の整備



© NEC Fielding, Ltd. 2026

2. 「ISO/IEC 27001」とは？

では、ISMSの国際規格である「ISO/IEC 27001」とは、どんなものなのでしょうか？

「ISO/IEC 27001」 は「要求事項」と「附属書A（ISMSの具体的な管理策をまとめたもの）」で構成されています。
実際の要求事項は4項以降に記載されていますが、4項～6項は計画「Plan」、8項は運用「Do」、9項は評価「Check」、
10項は改善「Act」に関する要求事項が記載されています。
この構成からもわかるように、ISMSは<u>PDCAサイクルを回しながら継続的に対応していくこと</u>が重要になります。

箇条	内容
1 適用範囲	形態、規模又は性質を問わず、全ての組織に適用できる
2 引用規格	ISO/IEC 27000 情報技術-セキュリティ技術-情報セキュリティマネジメントシステム-用語
3 用語及び定義	ISO/IEC 27000による
4 組織の状況	組織及びその状況の理解、利害関係者のニーズ及び期待の理解、ISMSの適用範囲の決定
5 リーダーシップ	リーダーシップ及びコミットメント、方針、組織の役割、責任及び権限
6 計画	リスク及び機会に対処する活動、情報セキュリティ目的及びそれを達成するための計画策定
7 支援	資源、力量、認識、コミュニケーション、文書化した情報
8 運用	運用の計画及び管理、情報セキュリティリスクアセスメント、情報セキュリティリスク対応
9 パフォーマンス評価	監視、測定、分析及び評価、内部監査、マネジメントレビュー
10 改善	不適合及び是正処置、継続的改善
附属書A（規定）	管理目的及び管理策 ISO/IEC 27002の箇条5～箇条18と整合

組織の管理の枠組みとして
適用必須

Plan

Do

Check

Act



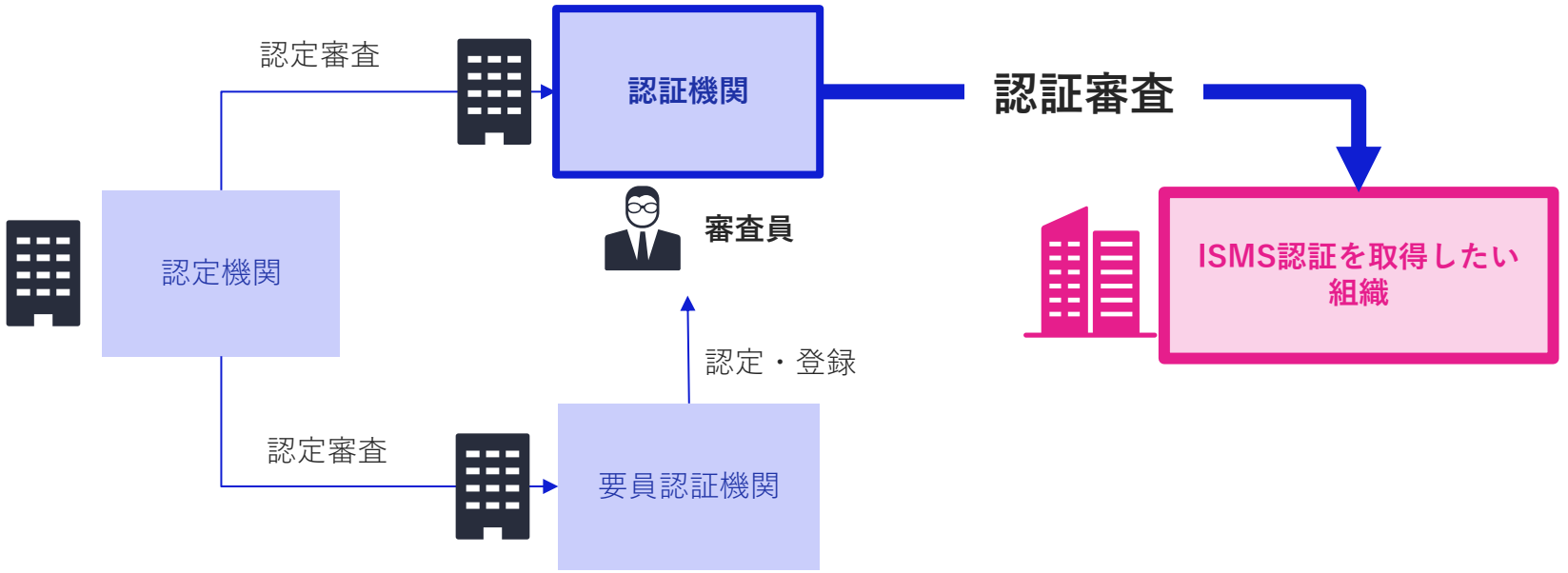
「JIS Q 27001:2014」に基づき作成

© NEC Fielding, Ltd. 2026

3. ISMS認証とは？

ISMSは仕組みであり、基準として国際規格「ISO/IEC 27001」が存在することがわかりましたが、認証されるためには、
規格に基づき適切に運用管理されているか第三者が公正に審査し証明する必要があります。
「ISMS認証」とは、財団法人・日本情報処理開発協会(JIPDEC)が定めた**評価制度（ISMS適合性評価制度）のこと**です。

「ISO/IEC27001」に適合するか審査し登録する「認証機関」、審査員の資格を付する「要員認証機関」、各機関がそれぞれの業務を行う能力があるかをチェックする「認定機関」によって運用されています。これらの機関により、第三者による公正な審査が可能になります。
ISMS認証を取得するには「認証機関」に申請し、審査を受ける必要があります。



© NEC Fielding, Ltd. 2026

4. ISMS認証を取得するメリット

◆対外的メリット

■説明責任を果たすことができる

「当社は情報セキュリティ対策ができています」では説明として不十分です。
組織の責任や活動内容を対外的に納得の得られる方法で説明する必要があります。
ISMSは、情報セキュリティに関する運用が見える化されるため、
説明責任を果たすために有効な手段です。

■取引条件への対応

官公庁の入札対応や取引企業の要請へ対応することができます。

■国際標準への対応

ISMS認証（ISO27001）は国際標準に基づく第三者評価。企業を評価する際の「ものさし」となります。マネジメントシステムの認定機関に認証され、
国際基準をクリアしている点で企業としての信頼性が向上します。

◆ 内部的メリット

■ 情報セキュリティリスクの低減

情報セキュリティ対策は、事故を起こさないための抜け漏れのない対策と
万が一事故が起こった場合の対処法を決めておくことにより、
被害を小さくし、リスク低減につなげることができます。
ISMSはそれを実現する手段です。

■ 従業員の意識・モラル向上

ISMSを取得するということは、
『情報セキュリティに対する全社員の意識改革を行う』ということと同義です。
情報セキュリティ事故は、「うっかりしていた」、「知らなかった」などの
人為ミスによる事故が大部分を占めます。
大切な従業員を守るために従業員の意識・モラルを向上させることは重要です。
また、情報セキュリティ意識が向上することで、お客様により安心感・信頼感を
持ってもらうことができるため、CS向上へもつながります。

以上、ISMS認証を取得するメリットについてまとめました。

対外的なメリットはもちろんのこと、従業員の意識が高まり、企業や組織内の情報セキュリティリスクの低減が図れることは大きなメリットです。

© NEC Fielding, Ltd. 2026

【ご参考】情報セキュリティ事故とISMS

情報セキュリティ事故　事例

脅威	内容
ランサムウェアによる被害	**■バックアップの暗号化による被害の長期化** • 製粉会社がサイバー攻撃により、ランサムウェアに感染 • システムのオンラインバックアップを管理していたサーバーも暗号化 • 早期復旧が困難となり四半期決算報告書の提出にも影響
テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	**■リモートデスクトップへの総当たり攻撃が急増** • WHO（世界保健機関）のパンデミック宣言後、RDPへの不正ログインを試みる総当たり攻撃が増加 • 宣言前（2020年2月）の9,310 万件から宣言後（2020年3月）は2億7,740万件と約3倍に増加 • 2021年4月時点では月に3億件を超える状態が継続
内部不正による情報漏えい	**■取引先の顧客情報を不正利用** • 2021年3月、証券会社のシステムの保守・運用等を委託されていた企業の元従業員が職務中に証券会社の顧客情報を不正に取得し使用したとして逮捕 • 顧客15名の ID、パスワード、暗証番号等を利用して顧客になりすまし有価証券の売却や現金の不正出金 • 被害総額は約2億円

出典：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）「情報セキュリティ10大脅威　組織編」

近年、情報セキュリティ事故は増加しており、攻撃の手口も多様化しています。

情報セキュリティ事故が発生してしまうと、業務停止や損害賠償請求される可能性もあり、**企業に与える影響は非常に大きなもの**になります。

ISMSは、不正アクセスやランサムウェア等による被害及び内部不正や委託先事業者による情報漏えい等の脅威に対して、総合的に情報セキュリティ対策を行うことを可能にします。

ISMS認証を取得したからといって、セキュリティ事故がゼロになるわけではありませんが、被害を小さくすることはできます。

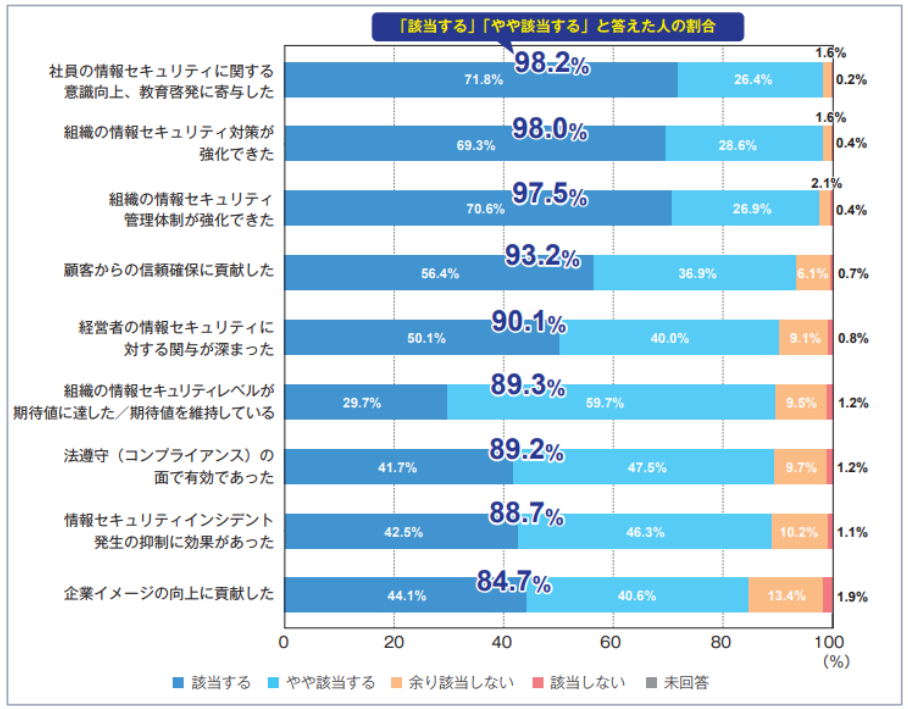
© NEC Fielding, Ltd. 2026

【ご参考】ISMS認証取得効果とISMS認証登録数

ISMSの認定機関である情報マネジメントシステム認定センター（ISMS-AC）が調査したISMS認証取得した効果に関するアンケートでも各項目に関して9割前後の組織が「効果があった」と回答しました。

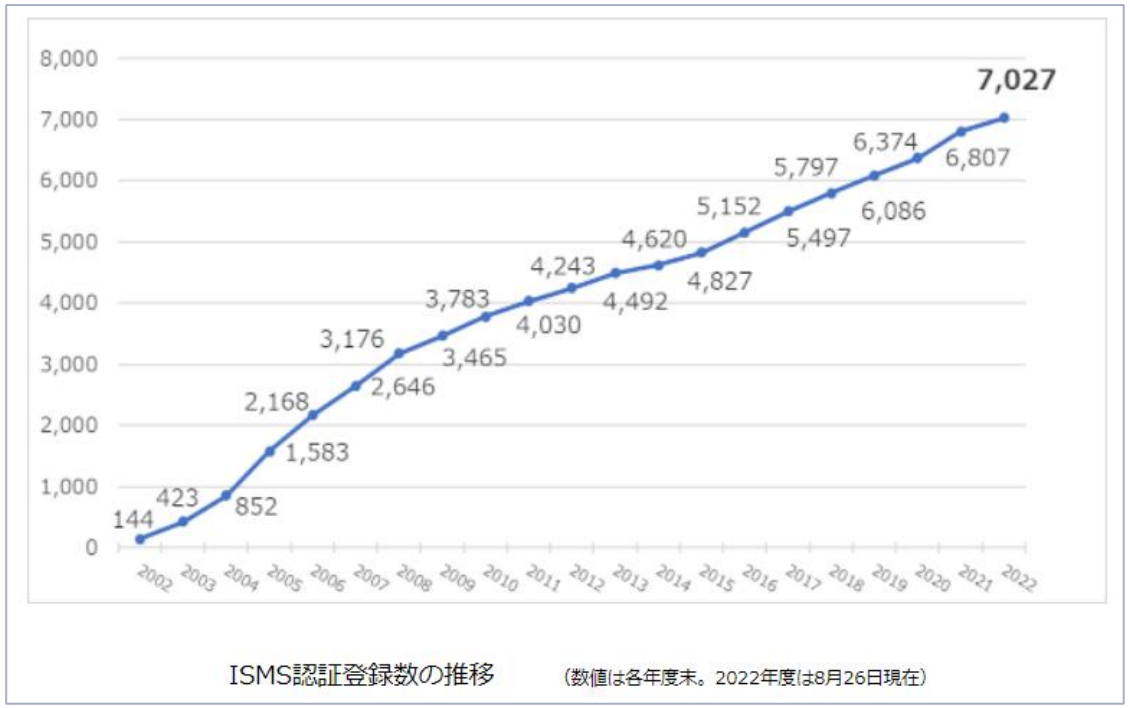
また、ISMS認証登録数は、最新の情報で7,000組織を突破しており、2002年度に正式運用を開始した後から一貫して増加しています。

ISMS導入の効果



出典：ISMS-AC「ISMS適合性評価制度の概要」
https://isms.jp/doc/JIP-ISMS120-62.pdf

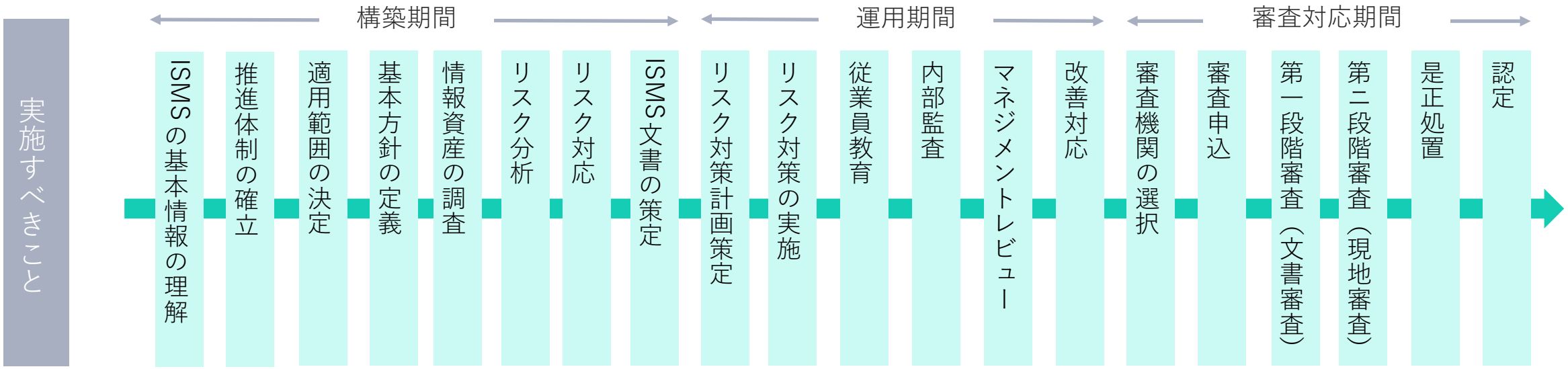
ISMS認証登録数



出典：ISMS-AC「ISMS認証登録数」
https://isms.jp/topics/news/20220901.html

© NEC Fielding, Ltd. 2026

5. ISMS認証を取得するためにやるべきこと(1/2)



取得するメリットのあるISMS認証ですが、認証を取得するには多くの準備が必要です。
上に掲げた「実施すべきこと」に着手する前に、以下の3点をご検討いただくことをおすすめしています。

①取得スケジュールの確定
②自力で取得するのか、コンサルに支援依頼するのか決定
③コストの算出

ISMS認証を取得するには従業員の対応工数や審査費用等、コストが発生します。コンサルに支援依頼する場合は、コンサル費用もかかってきます。もちろん自力で取得することも可能ですが、膨大な対応コストと時間がかかります。
コンサルに依頼することで、最短かつ効率的に取得が可能になりますので、従業員の業務負荷を抑えることができます。

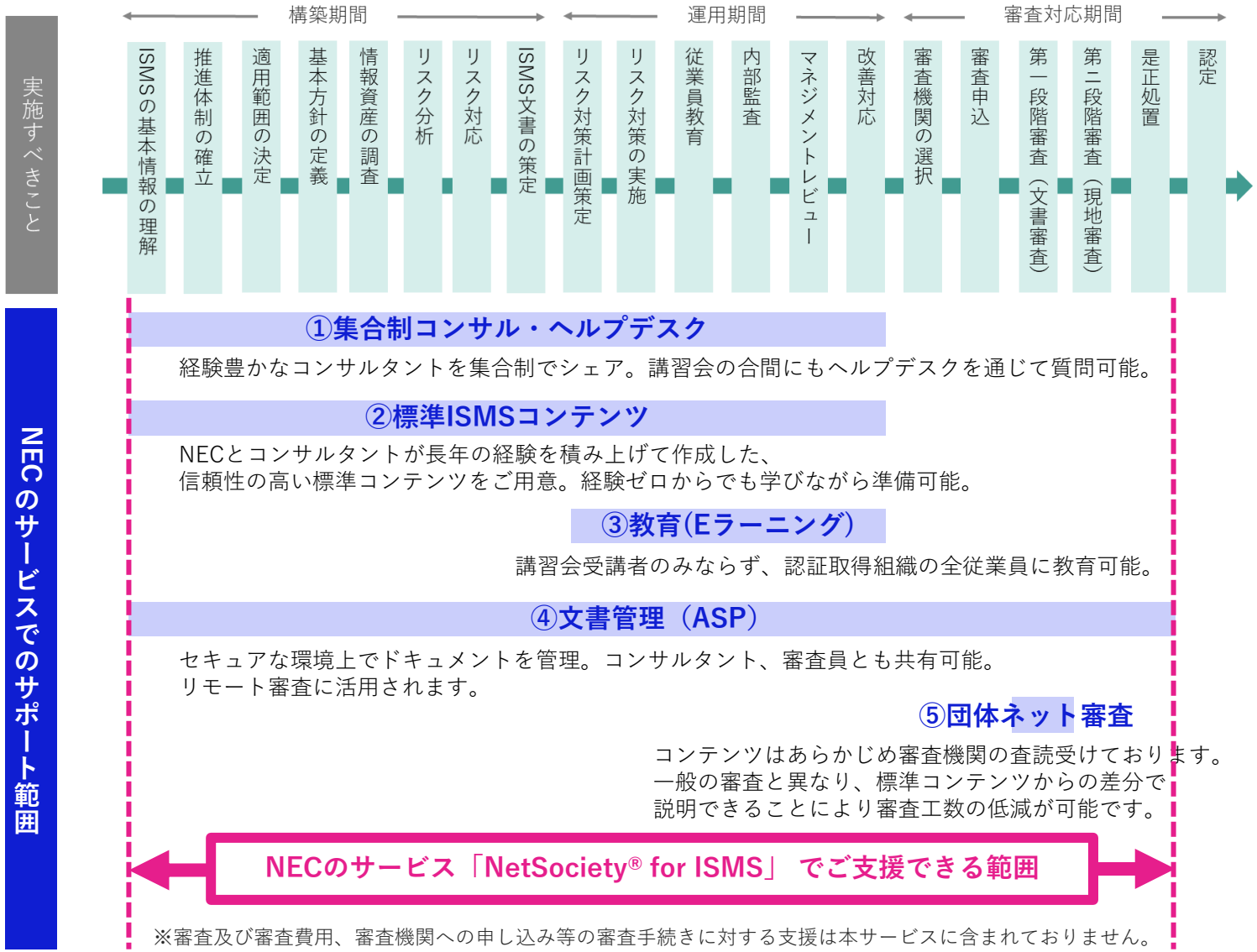
© NEC Fielding, Ltd. 2026

5. ISMS認証を取得するためにやるべきこと(2/2)

NECではISMS認証取得支援サービス
「NetSociety® for ISMS」をご提供しております。
独自のサービスモデルで、ISMSを早く、効率的に取得することを可能にするサービスです。

本サービスは、中堅・中小企業（従業員25名以下）を含め、累計625社以上の参加実績があります。

最近の利用事業者では、従業員数が100名以下の企業が50%以上を占めております。



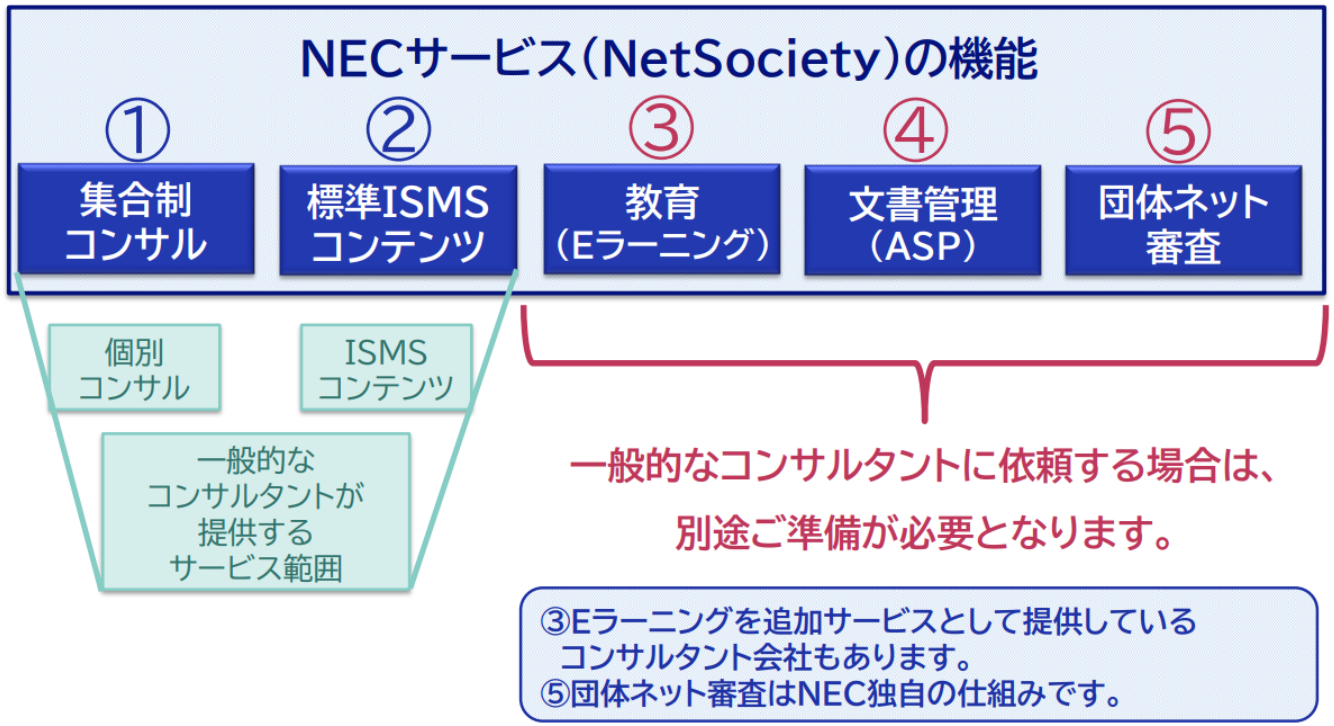
© NEC Fielding, Ltd. 2026

【ご参考】一般的な他社コンサルタントとの違い

コンサルに支援依頼する場合、費用だけではなく、支援範囲をご確認ください。
一般的なコンサルは下記のようにEラーニングによる教育や文書管理は別途必要になることが多いです。

自社の方針に合わせて最適な方法で取得を目指していただければ幸いです。
弊社の第三者認証取得･運用支援サービス「NetSociety® for ISMS」にご興味がございましたらご連絡をお待ちしております。

◆ＮＥＣサービスは、ＩＳＭＳ認証取得に必要な全ての要素を提供しています。



© NEC Fielding, Ltd. 2026

6. お問合せ先

本件についてのお問い合せは、下記にて承らせて頂きます。
お気軽にお問合せください。

NECフィールディング株式会社
オファリングサービス統括部
NetSociety担当

E-mail：nets@nsd.jp.nec.com
URL　：https://jpn.nec.com/cloud/netsociety/index.html

© NEC Fielding, Ltd. 2026



\Orchestrating a brighter world

NECフィールディング